

LTEトランシーバー IP500H



導入事例

株式会社ベルハース様

葬儀施行、葬儀会館運営、霊柩貨物自動車運送業

[導入台数] 10台

[使用方法] 本社含む5拠点の社員に配備

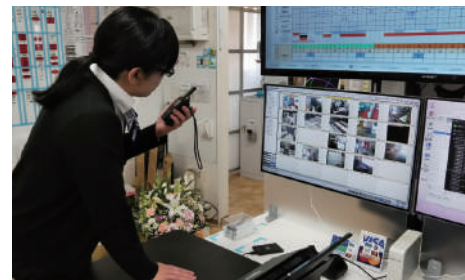


代表取締役
林 直哉 様

本社から他拠点にいるサービスマンへ、LTEトランシーバーでリアルタイムに一斉連絡できるようになり、ご依頼いただいてからの確認時間を1日22.5分、**月間750分削減!**

導入前の課題はどのようなものがありましたか？

元々普通のインカムでやりとりをしており、拠点内で使う分には問題ありませんでした。問題は、他拠点とのやりとりでした。よく予定にないスケジュールが入ることがあるんです。例えば本社にお客様から事前相談の問い合わせがあった際、どこに誰がいるかを今までは電話で確認していたのですが、セレモニー中だとマナーモードにしていますので、何度も電話をしないと担当者が捕まらない…ということがよくあり、管理部のスタッフはいつも困っていました。



どのようなきっかけでLTEトランシーバーを導入されましたか？

そんなときに、新白河の合宿所でLTEトランシーバーのお話をお伺いし、これなら今の問題が解決できるのではないかと思います。ちょうど隣に座っていたのが、LTEトランシーバーを使われている株式会社ミラクの吉田社長だったんです。話を聞いて更に興味が湧き、その後武蔵野様が会場で使用していたのを少し触らせていただきました。

普通のインカムとは違い、同時通話ができるので、みんなで会話できるという点が決め手でした。また、どれだけ喋っても定額料金なのがいいですね。

導入後、どのように活用されていますか？ またどのような効果がありましたか？

本社にお客様からのご依頼入電があった際、LTEトランシーバーのチャンネルを全社一斉にして、一斉に発信しています。担当者が対応中でも他の全員に届くので、情報の伝達がスムーズにできるようになりました。サービスマンを電話で捕まえるのに **1回5分 × 1日5回 = 25分**かかっていたとすると、導入後は **1回30秒 × 1日5回 = 2分30秒**に縮まりました。また、以前は拠点間でSkypeを繋いでいたのですが、ウェブカメラを見てスタッフがいるのをチェックしてから呼びかけをしていました。

現在はLTEトランシーバーでの呼びかけにしたことで、その手間も削減されました。現場スタッフからも、手軽で安心という声がありますね。



株式会社ベルハース様

1907年(明治40年)、群馬県藤岡市にて創業され、創業113年を迎えられる企業様です。ベルセレモニーを5ホール運営されており、藤岡市内のお葬式なら「ベルセレモニー」と呼ばれるほど、長年にわたり地域のお客様から信頼され、支持され続けています。

